

---

# 奔流に、私は流される・・・!?

繚乱ふあるまー

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

奔流に、私は流される・・・！？

### 【Nコード】

N1720G

### 【作者名】

繚乱ふあるまー

### 【あらすじ】

桜花坂高校に通う女子高生、崎村志乃サキムラシノは平凡な毎日に苛立ち、さまざまな苦悩を抱えていた・・・だがある日、一人の転校生によって彼女の人生に最大の変化が訪れる！

**第一幕：『始まり』（前書き）**

この作品は平凡を苦痛と考える一人の女子高生の人生が変わってゆく物語です。序章は暗い感じになっているので、そう言ったものが苦手な方はご遠慮ください

また 規約違反に関する事を発見した場合、運営者様側に通報という形をとらせていただきます。

## 第一幕…『始まり』

朝起きると、どうも頭が回らない。

気が付くと喉が渴いていた

私は顔を洗う前に冷蔵庫を開き夏の朝は随分と冷蔵庫の冷気が冷ややかに感じる。

その中に冷やしてあった 水の入っていたガラスコップを手に取る

コップの付置を自分の唇へ運び冷水を喉へと、ゆっくりと流し込む

その冷たさは 全身にまわり付いていた汗の気持ち悪さや 夏の猛暑を忘れさせてくれた

ふう・・・

と息を漏らす。

毎日が同じ事の繰り返し、ユラユラと・・・ユラユラと・・・

周りの人と変わらない毎日を過ごすなかで私はだんだんと静寂にだけど心の奥のほうでは

葛藤、恐怖、絶望、墮落、、、

平凡な毎日が 平凡であることに恐怖を覚え時には泣き、時には怒る  
それを変えようとして努力をしてみるけど

、試してみる、だけで 変えよう とは思わなかった。

でも、そんな平凡な毎日が今日から一変することみ知らず

私は学校へと向かおうとしていた

私の通う高校は都立で一般的な高校である。高校受験も人並みに努力して入学した学校だったので入ってみて楽しくないと言えば嘘になるだろう 入学当初に知り合った生徒とは、すぐに友達になれた。

・・・やっぱり努力した甲斐は あったかなあ（笑）

でも、だんだんとわからなくなっていったのだ

昔と何が変わったのか？

そんなことを自覚しはじめたときから私は鬱状態のようなものになっていったのである。

それからと言うものの 勉強にはあまり集中できず、友達との付き合いもだんだんと薄くなっていったのだ・・・

まだ入学して半年も経たないが大体の事は中学時代とあまり変わらなかったのである

そんなことを考えてるうちに自分がなぜ高校に入学したのか

自分は結局なにがしたかったのかがわからなくなっていた

.....

そして今日に至るのである。

私はいつも通りに朝の支度をして 家を出たのだった・・・

徒歩で5分の場所に私の通う 桜花坂高校が建っているのである。

5

私は校門の近くで挨拶をしている先生方に おはようございます  
と 小声で呟きかけ

校門をぬけた

下駄箱で上履きに履き替え教室に向かう、1 - A ここが私のクラ  
スである

教室へ入ると周りの生徒が楽しげに笑いながら話している、そんな  
見慣れた風景を横目でチラリと見て自分の席へ着席する。 窓の外  
の空を眺めて『今日は晴れか・・・』なんて思っている

担任がやってきた みんな自分の席へ座れー

担任の声と共に 楽しげに話していた生徒たちが自らの席へと着席する

『今日は皆に新しい転入生を紹介したいと思う』

担任がそう言うと周りの生徒がざわつき始めた

・・・ねえねえw転入生だって！ 女子かな？男子かな？w

・・・やべッw可愛い子だったら俺様がLOCK ON！しちゃうもんねーw

などと色々と話している

そうこうするうちに担任が 入っていいぞー と声をかけた・・・

第一幕：『始まり』（後書き）

・・・鬱んなるわー

とか思わなかったカイ？><:;bb

初作品なので矛盾点や色々ところちやまぜなところもありますけどうか！できれば！気軽に！暇なら！未永く見守ってやってくださいませ・・・b・・・あ

あとですね（汗

誤字、脱字 等の間違いがございましたらコメントいただけるとありがたいですっ汗

では！最後まで見ていただきありがとうございます！！

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1720g/>

---

奔流に、私は流される・・・!?

2010年11月17日03時08分発行